

「感謝と挑戦 未来へ向かう君たちへ」 校長 祖根 聖吾

卒業式から10日たちました。卒業式では、換気対策のために在校生は2年生のみの出席となりましたが、式の中での2年生の合唱、『ほらね』に感動から涙する卒業生・保護者・教職員・来賓が続出しました。その中の一人が私です。長時間に渡っての緊張感ある式進行で、体も強張っていたでしょうが見事に歌い上げてくれました。その後の3年生の『未来へ』は後輩に負けられないプライドと後を託す後輩へのエールの意味でこれも素晴らしく感動的で素敵な合唱でした。その時、確かに会場にいたすべての人々は幸せな時間を過ごしていました。また、吹奏楽部の入退場の演奏や、校歌合唱、卒業生に送る言葉すべてが心のこもった温かなものだったからこそ感動につながったと思います。そこに居られなかった1年生は大変残念に思ったことでしょう。しかし、卒業生に対する感謝の気持ちは、前日の総練習の合唱『明日へ』で十分に伝わったと思いますし、実際に卒業生は皆立派な態度で巣立っていきました。安心してください。そしてありがとう。

さて、今日は修了式です。1年間の成長を振り返り、来年度に向けて心を新たにします。皆さんは、1年間本当によく努力をし、よく成長しました。

ここで、来年度に向けて、皆さんに考えてほしいことがあります。耳の痛い人も居るでしょうが、敢えて言います。「あなたは学校生活を豊かにするために何をしようと考えている人ですか。それとも何をしてもらおうと考える人ですか。」

勉強では、好きな教科もあれば、苦手な教科もあるでしょう。苦手な教科でも力をつけるために工夫や努力をする人はいずれ得意教科に変わる期待があります。しかし、「先生の教え方が悪い。」「授業中に騒ぐやつがいて集中できない。」、教室が寒いから暑いからなど、他者に理由を見出そうとする人であったならば、あなたの考える理想の環境を与えてくれない限り力を身に付けられないことになります。しかし、自分以外の人を自分の思い通りには絶対にできないのだから、結局は自分が変わらなければ何も前進しません。

新しい学級でも同じです。あの人と一緒にクラスでなければ嫌だと思ったり、逆にあの人と一緒に学級なんて絶対に嫌だと思ったり、自分の願いが叶えられなければ不幸なのではないでしょうか。学級編成をした先生方を恨んで1年を過ごすのでしょうか。それよりも、新たな出会いに心をときめかせ、自ら歩み寄って友だちの輪を大きく広げていく方が幸せに近づけるのではないのでしょうか。新しい環境が自分に合っていると聞き聞かせ、自分を合わせていくことが楽しく毎日を過ごす秘訣だと思います。勿論、全てをむやみに受け入れるのではなく、自分や関わる人がすべて幸せになるにはどうすれば良いのかを考え、実践することは欠かせません。「真を求めて 信に生き 未来創造に迫る」どんな輝かしい未来を描くかはあなた次第です。短い春休みですが、前向きな気持ちをもって新学期の準備をしてください。そんな取組で、陵北中学校では誰一人取り残されない、一人一人が大切な存在だとお互いに認め合える学校になることを期待しています。

4月8日(火) | 学期始業式について

- ・登校時刻は通常の間(8:00~8:30)です。標準服での登校となります。給食はありません。
【持ち物】 上靴・靴袋(外靴を袋に入れて教室へ)・教科書が入るカバン・筆記用具等
- ・新2年生は4階の同名学級の教室へ。(元1年6組は4階第一音楽室へ。)
- ・新3年生は2階の同名学級の教室へ。

